

治る歯髄 治らない歯髄

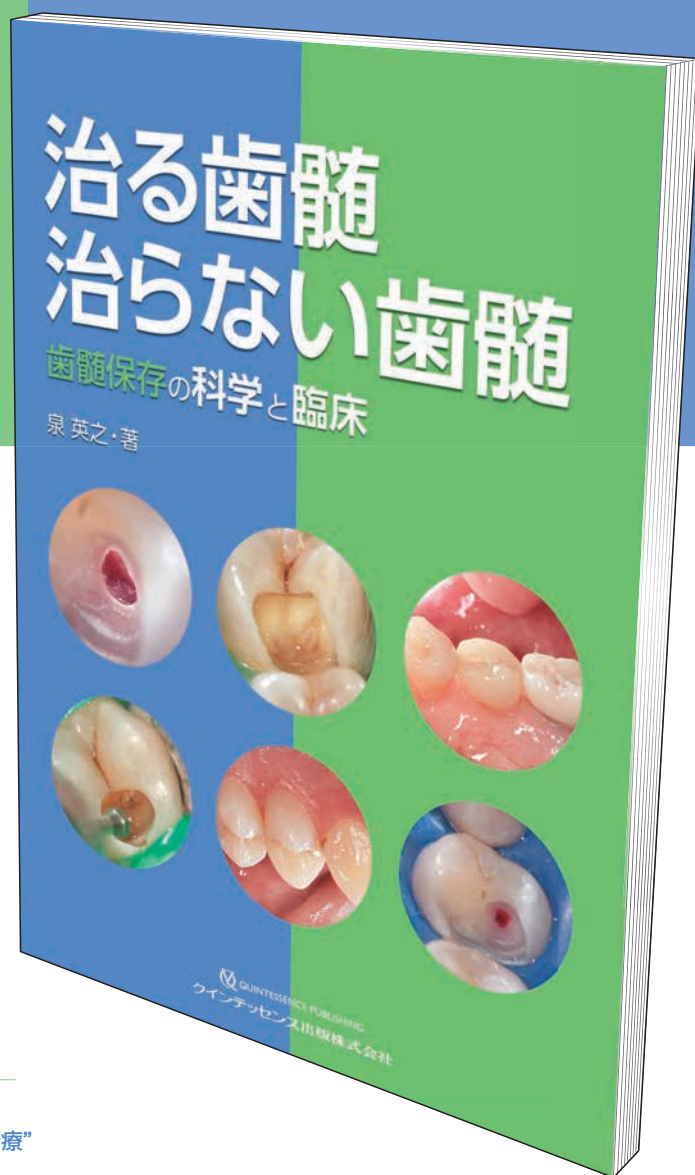
歯髄保存の科学と臨床

泉 英之・著

the Quintessenceでの特集記事に大幅に加筆して書籍化. 近年の風潮である歯を守る(残す), すなわち歯髄を守る(残す)ことにこだわる臨床像をエビデンスと臨床例で解説.

CONTENTS

- 序章 なぜ今, 歯髄保存なのか?
- 1章 歯髄治癒の原則 “治る歯髄/治らない歯髄”
—露髄した歯髄から学ぶ歯髄保存の原則—
- 2章 歯髄の診断と治療方針 “治る歯髄を見極める”
—冷温度診, EPTを使いこなし, 結果に応じて治療方針を変える—
- 3章 う蝕除去 “何をどこまで除去するか”
—う蝕検知液と硬さ, 使い分けとポイント—
- 4章 直接覆髄 “露髄した歯髄を治癒に導く”
—直接覆髄, 部分断髄, 歯頸部断髄—
- 5章 間接覆髄 “露髄させない治療法”
—シールドレストレーションとステップワイズエキスカベーション—
- 6章 仮封と最終修復 “マイクロリーケージを防ぐ修復治療”



「もっともよい歯内療法は、歯内療法をしないことだ」

古くからいわれてきたこの言葉は歯髄保存の重要性を端的に表している。本書では、歯髄治癒の原則、診断と治療方針、う蝕除去の実際、直接・間接覆髄、仮封から最終修復までエビデンスと臨床ケースで解説された現代Minimal Interventionのバイブル。「なぜ今、歯髄保存なのか?」の答えが詰まっているチェアサイドの置いておきたい1冊。



師匠の月星光博先生も推薦!

エンドのパラダイムシフトー歯髄を残そう!

日常臨床で抜歯の原因として根管処置歯の根縦破折に遭遇することは少なくない。エンドの成功率がそれほど高くないわが国の現状を考えると、「歯髄をいかに残す」かへのパラダイムシフトの重要性が認識されつつある。この本は、多くの文献(エビデンス)と、筆者のたぐいまれな観察力のもとに、残せる歯髄、残せない歯髄の診断と処置法をまとめあげた秀著である。歯髄を保存したい歯科医師必読の1冊である。

きりとり線

注文書

治る歯髄 治らない歯髄 歯髄保存の科学と臨床

モリタ商品コード:208040144

冊注文します。

●お名前	●貴院名	●ご指定歯科商店
●ご住所 (〒)		
●TEL	●FAX	

支店・営業所

※ご記入いただいた個人情報は、弊社の新刊案内、講演会等の案内に利用させていただきます。
※ご指定歯科商店がない場合は送料をいただき、代金引換宅配便でお送り致します。